

「次につながる」技術とサービスで顧客づくりを進める塗装工事会社

1969年の創業以来、42年間にわたって塗装・防水工事で信頼と実績を重ねてきた『四季彩工房 山内』。優れた技術力で満足を提供することはもちろん、アフターサービスにも力を入れ、次の依頼へとつなげながら顧客づくりを進めている。本日は今年就任した二代目の山内社長にお話を伺った。



代表取締役・一級技能士

山内 篤

やまうち あつし：

地元出身。学生時代からファッションが好きで、大学卒業後は大手アパレル会社に就職して5年間勤務する。その後、父親が社長を務める『四季彩工房 山内』に入社。アパレル業から一転、現場で一から修業を重ねて技術を習得し、3年前には一級技能士の資格も取得する。2011年2月に二代目として代表に就任。現在に至る。

布川 まずは御社の沿革から伺います。
山内 当社は1969年に現会長である私の父が立ち上げました。大手企業様との取引が主体で、ビルやマンションなど大きな現場の新築や改装に伴う塗装・防水工事を中心に手がけています。
布川 山内社長はずっと会長の後ろ姿をご覧になってきて、後を継ごうと思われたのでしょうか。
山内 いいえ。むしろ大変な仕事だから自分にはできないと思っていました。会長も一度も継げとは言いませんでしたし、学業修了後はアパレル会社に就職したんです。ただ、5年ほど勤めたころ、やはり家業に入ろうと考えるようになりました。会長が一代で築いてきた事業ですし、継ぐ人間は私しか

いません。継げと言われなかったことで、逆に気になって戻ってきたという感じですね（笑）。それに私はどんなことにおいても、どうせやるなら好きになって上を目指そうという前向きなタイプなので、家業に入ったからには父の代よりも大きくしたいと思ってスタートしました。
布川 畑違いのお仕事ですが、当初はいかがでしたか。
山内 お恥ずかしいことに、最初は塗料の臭いだけで体調が悪くなりました。それでも慣れてくると臭いも平気になり、現場で懸命に技術を覚えられましたね。すべて手作業ですし職人技が必要とされますので、今日入ってすぐにできるという仕事ではありません。それだけに苦労もありましたが、工

事を終えてお客様に喜んでもらった時は本当に嬉しくて、以前の仕事にはなかったやり甲斐を感じました。お陰様で3年前には、一級技能士の資格を取得することができたのです。

布川 名実ともに一流の職人となられたわけですね。さて、今後の抱負を。

山内 仕事においては100%ではなく、常に120%の仕事を目指してきましたし、それで当たり前だと思っています。今はアフターサービスに一層力を入れて、7〜8年後に再び塗り替えの依頼をしてもらえるよう、「次につながるサービス」に注力していこうと考えています。「また頼もう」と思っていただけでこそお客様の心を掴む仕事ができたと感じますから。また、最近は材料にしても技術にしてもどんどん新しいものが出てきますので、情報収集や勉強を欠かさないようにしたいですね。豊富な知識と卓抜した技でお客様に喜んでいただき、人のつながりを広げていければと思います。それをまた仕事の幅、会社の規模を広げることにつなげていければ本望です。



布川 敏和
(タレント)

ゲストインタビュー



「山内社長はお忙しい合間を縫って勉強をされ、3年前に一級技能士の資格を取得されたそうです。これにより、今まで以上にお仕事の幅が広がったそうですね。これからますます楽しみです。さらなるご発展に期待しています！」

株式会社 四季彩工房 山内

大阪府高石市綾園1丁目
11番17号 平野ビル 101号
TEL 072-266-8157
FAX 072-266-8147